

10月に入り、すっかり秋が深まってきました。思い返せば、今年の夏も大変暑かったですね。そして、各地で副校長・教頭先生が一堂に会して、様々な学びがありました。

第68回全国公立学校教頭会研究大会 札幌大会

7月30日(木)～7月31日(金)に、北海道札幌市において、大会主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり～夢と志をもち 未来をしなやかに歩み続ける力を育む 活力ある学校づくりの推進」をテーマに開かれました。

1日目の全体会では、シンポジウムと記念講演が行われました。シンポジウムでは、テーマをもとに多様な立場のパネリストの意見を聞くことができました。藤原氏は「教育政策の動向と学校組織の条件整備」、阿部氏は「地域・企業と学校をつなぐキャリア支援」、工藤氏は「夜間中学における多様な学習者の受容とシステム改善」の視点から、夢や志を育む活力ある学校づくりの推進について、それぞれの実践に基づいた多くのお話しは、示唆に富み、大変学びになりました。また、「教職員が挑戦できる風土づくり」が大切であるという提言が印象に残りました。教頭として、校長の学校教育目標の実現に向けて、教職員の挑戦を支えること、失敗をしても再挑戦できる環境づくりの推進がカギになると感じました。

記念講演はトップアーティストの楽曲を数多く手掛ける音楽プロデューサーの蔦谷 好位置 氏へのインタビュー形式での講演でした。幼少期の原体験や第一線で制作現場における経験を振り返りながら、対話の重要性、古いものの良さも大切にしつつ、AIなどの新技術を積極的に受け入れること、それぞれの「個性」を認め大切にすることなど、これからの学校教育につながる視点が多く示されました。

2日目は各会場に分かれて課題別に分科会が開かれました。実践報告を受けて協議を行い、学びを深めることができました。



シンポジストからの様々な提言から多くの学びを得ることができました。

第66回九州地区公立学校教頭会研究大会 佐賀大会

令和8年8月19日(水)～8月20日(木)に、佐賀県佐賀市において開催されました。

1日目は佐賀市内の各所に分かれて、課題別に分科会が開かれました。九州各地の実践報告・提言を受けて、参集した副校長・教頭先生方で熱心な協議が行われました。

2日目はミズ ウェルビーホール(佐賀市文化会館)に集まり、全体会が行われました。

記念講演では、元ラグビー日本代表の五郎丸 歩 氏から、2015年ラグビーワールドカップで強豪南アフリカに歴史的勝利を上げるまでの日本代表の取組やマインドなどについてのお話を伺うことができました。組織を勝利に導くためのキーワードとして、「準備」、「多様性」、「主体性」の三点を挙げ、「目標が決まると全てが変わる」「多様なチームメイトの違いを認め、力に変えること」、「強い組織はすごい1人で回っていない」「勝つことは目標ではなく手段と考えた」など、学校運営や学校での人財育成でも活きるエピソードを聴くことができました。最後に、「品位」というキーワードを挙げ、「相手に対する尊敬を大切にすること」について熱く語られました。結局は、人との出会いやつながり、感謝や尊敬が大事であるという話が印象に残りました。当時の監督や様々な選手とのエピソードやラグビー日本代表が取り組んできた様々な目標達成に向けた取組は大変興味深く、多くの学びと示唆に富んだ講演でした。



テーマや提言をもとに、九州各地の副校長・教頭先生と共に学び合う貴重な機会となりました。